

報道関係者各位
プレスリリース

2011年12月26日
ジャパンホームシールド株式会社
東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F
代表取締役社長 斉藤 武司

新しい地盤調査方法を活用した安価な液状化試験方法をリリース ～ 従来比 費用は約 10 分の 1、期間は約 5 分の 1 ～

戸建住宅の地盤調査、改良工事を手掛けるジャパンホームシールド株式会社(所在地:東京都墨田区、代表取締役社長:斉藤 武司)は、東日本大震災以降、施主の関心が高まっている液状化現象について、新しい地盤調査を活用することによって従来の試験方法よりも安価で短期間に調べることができるサービスをリリースすることになりました。

■新しい地盤調査方法について

現在主流のスウェーデン式サウンディング試験(以下 SWS 試験)では、「砂」や「粘土」といった地盤の性質を示す「土質」について、地盤調査測定時の感触や音から『推定』しています。新しい地盤調査方法であるスクリュードライバーサウンディング試験(以下 SDS 試験)は、従来の測定データに加え回転トルク値等のデータを『分析』することで土質を判別します。関東ローム層や腐植土といった土質毎の特徴(※下記【参考-1】参照)を加味して地盤を評価できるので、不必要な地盤補強や不同沈下のリスクが回避できます。また、SDS 試験機自体も SWS 試験機に専用のユニットを装着するだけなので、調査費用が安価に納まるのも特徴です。

■液状化判定について

液状化現象は、下記【参考-2】の4項目を要因として発生するといわれています。これまでも液状化リスクについて、標準貫入試験と土質試験等の試験法等がありましたが、費用が高く(約 20～30 万円)、判定までに時間も掛かります(約 2～3 週間)。そのため、東日本大震災以降、液状化について施主の関心が高まっているにもかかわらず、実際にはあまり実施されていないのが現状です。そこで、SDS 試験と水位測定を組合せることで、発生要因の「土質」と「水位の高さ」を計測し、液状化リスクを3段階評価。安価(標準貫入試験の約 10 分の 1)で短期間(調査後 3～5 日)に液状化リスクについて評価できます。

■対応エリア

北陸・南九州・沖縄を除く全国 ※詳細エリアにつきましてはお問い合わせください

■利用価格

¥25,000(税別)

※ただし、ジャパンホームシールドへの加盟店登録、ならびに地盤サポートシステム(別途有償)の利用が条件となります。

【参考-1】土質がもつ特徴

＜関東ローム層＞

富士山や箱根火山から供給された火山灰を主とする地層で、土粒子が細かいわりに透水性が良く、粒子間の結合力が強いので支持力の強い地盤を形成します。

＜腐植土＞

水性植物などの有機物が分解して土壌と混じり合ってきた土のことで、一般に含水比が高く圧縮性が非常に高いため支持力が弱く、不同沈下の要因の一つとなっています。

＜砂質土＞

0.075mmよりも大きな土粒子の粒が主体となって構成されている土のことをいいます。水の透水性は良く、地盤の支持力は比較的大きいです。

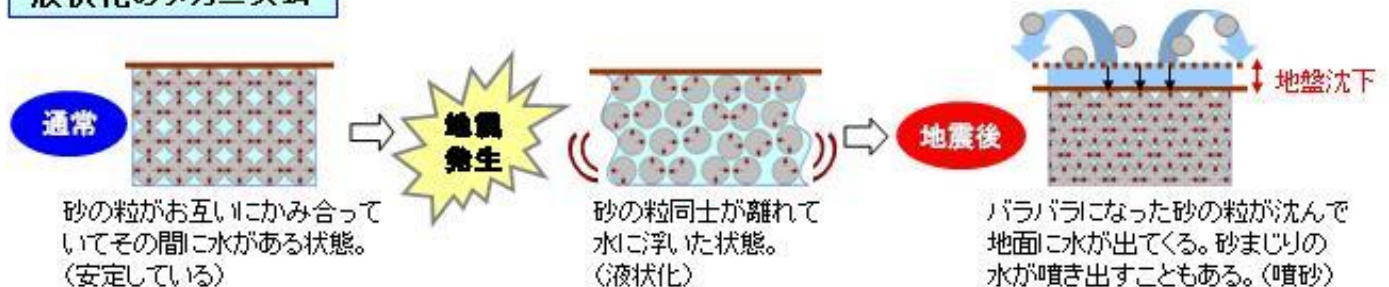
＜粘性土＞

0.075mmよりも小さな土粒子の粒が主体となって構成されている土のことをいいます。透水性は小さく、一般に地盤の支持力は小さいです。

【参考-2】液状化の発生要因

1. 土質(砂質土で発生しやすい)
2. 水位の高さ(地下水位が高く、水で満たされている場所で発生しやすい)
3. 土の締まり具合(土同士の粒子間が緩いほど発生しやすい)
4. 地震の強さ(地震が強いほど発生しやすい)

液状化のメカニズム



■ジャパンホームシールド株式会社概要

- (1)商号 : ジャパンホームシールド株式会社
- (2)代表者 : 代表取締役社長 斉藤 武司
- (3)本社所在地 : 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F
- (4)会社設立 : 平成2年3月1日
- (5)事業内容 : 地盤調査及び関連業務、地盤補強業務、地盤環境診断業務
- (6)親会社 : 株式会社 LIXIL
- (7)ホームページ : <http://www.j-shield.co.jp/>

■本プレスリリースに関する問合せ先

ジャパンホームシールド株式会社 担当: 事業推進室 児玉

Tel : 03-5624-1545 Fax : 03-5624-1544 Mail: eigyousjhs@j-shield.co.jp